

シャクヤクの香りのタイプ分類

シャクヤクは、その香りの特徴や成分の配合バランスによって3タイプに分類され、以下の香りの表記はセリ機、インターネット受発注システムに掲載されています。

Very Fragrant 強香	3	Fragrant 芳香	2	Slightly Fragrant 微香	1
---------------------	---	----------------	---	-------------------------	---

※香りの強さは3段階で表記されています。

①ローズグリーンの香り :表記(RG)

バラとキクの香りの特徴を併せ持つ。現在流通する切花品種の大半を占める香り。

②グリーンの香り :表記(G)

キク様のカンファー(樟脳)の香り。

③ローズの香り :表記(R)

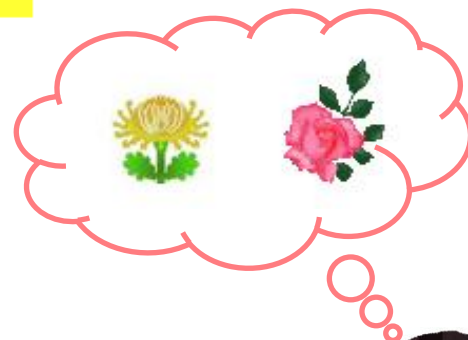
バラ様の甘い香り。

④ローズオーキッドの香り :表記(RO)

バラ(ローズ)の甘い香りにカトリアなどの蘭(オーキッド)のスパイシーな香りを併せ持つ。

ローズオーキッドの香りを持つ流通品種は、切花においては現在ありません。

※上記の他、シャクヤクの中こまいエなどの虫を呼ぶ香り(アミン臭)をもつ芳香性の低い品種も見られましたが、それらは芳香と捉えず分類からは除いています。



シャクヤクの芳香品種(切花流通品種)の詳細は、花情報提供サービス「ここまれわんわん」からご覧いただけます。是非ご参考ください。



芍薬の香りは単体でも爽やかな芳香を楽しむことができますが、バラやハーブなど香りの良い花と組み合わせることで、さらに香りの効果を高めることができます！

香りに関する情報は、(株)大田花き花の生活研究所 HPでご紹介しています。